

市役所本庁舎耐震対策

現在地に『防災棟』増築など

本庁舎の耐震対策については、本紙10月1日号で4つの選択肢を掲載し、今後の方向性を検討してきました。今回、現時点における市の方向性をお知らせします。今後はさらに検討を進め、最終的な方針を決めていきます。

さまざまな意見・議論を経て

本庁舎の耐震対策を検討するに当たり、次のような場を経て多くの意見をもらいました。▼市議会、災害に関する調査特別委員会 ▼パブリック・コメント ▼まちづくり懇談会（町会長からの意見） ▼有識者検討会 ▼市総合計画審議会

これらの意見の内容や、意見に対する考え方は、市ウェブサイトで見ることが出来ます。



さまざまな意見、ありがとうございました

本庁舎耐震対策について市の考え方

前出の意見などを参考に、現時点における市の考え方を次のとおりとしました。

(1) 減災対応として、現庁舎の上層階は不使用とします。現庁舎は階段が狭く、ま

た構造が複雑であることから、避難やけが人の搬送が困難です。そのため東日本大震災では避難の際に混乱が生じました。

上層階の揺れによる負傷者の発生や什器の倒壊を防止するため、上層階は不使用とし、安全な避難体制を確保します。

(2) 防災の拠点は現庁舎の位置とし、被災時に市民生活の復旧復興作業等に携わる部門などが使用する防災棟を増築します。

防災の拠点は、コンビニなど災害の可能性などを踏まえ現庁舎の位置とし、被災時に道路・水道などのライフラインの復旧やその後の復興作業などに携わる部門の使用を想定した防災棟を現在の敷地に増築します。

(3) 旧市原ショッピングスクエアビルに、庁舎機能の一部を移転します。上層階を不使用とした

ため、既存ストックの有効活用を図り、旧市原ショッピングスクエアビル(旧住友ビル)に庁舎機能の一部を移転します。移転する機能は、市民の利便性を高め、中心市街地の活性化に資するものとし、フレストップサービスの観点からも精査します。

(4) 現庁舎の低層階は、当面使用します。上層階を不使用とし、防災棟と旧市原ショッピングスクエアビルへ一部機能を移転しますが、残る機能については、当面現庁舎の低層階を使用し、業務を行います。

(5) 庁舎のあるべき姿は、議会や市民の皆さんの意見を聞きながら別途検討します。まず緊急的な耐震対策を行い、その後、将来的な市役所本庁舎のあるべき姿について議会や市民の皆さんから意見を聞きながら、別途検討していきます。

市総合計画審議会に諮問中

以上の方針は同審議会に諮問中であり、平成25年1月に答申を受ける予定です。

問合せ先

Web 企画調整課 ☎ 9820

平成25年5月1日で市制施行50周年



50周年カウントダウンの参加者を募集

50周年を広くPRするとともに、市民の皆さんと一緒に祝いするため、『市制施行50周年カウントダウン』を実施します。

市制施行50周年カウントダウンとは、カウントダウンボードを持った皆さんの写真を、市ウェブサイトで順次掲載していくことです。今回、写真の掲載に協力してくれる参加者を募集します。

対象者 市内在住・在勤・在学者（市民サークル、家族、友人、同僚など）
募集数 20組（申し込み多数のときは抽選）
申込方法 電話か、住所、氏名、電話番号、出演人数を書き、ファクスまたはeメールで12月28日(金)までに申し込む（申込先は下段参照）。

『市原市のマスコットキャラクター制作』アンケートに協力を

市では、市制施行50周年を機に、市のマスコットキャラクターを誕生させたいと考えています。その候補として、上総いちばら国府祭り誕生し、知名度もある『オッサくん』の活用を検討しています。『オッサくん』はお祭りをイメージした衣装（デザイン）ですが、この『オッサくん』をベースに新しい衣装を作り、市のマスコットキャラクターにしたいと考えています。

今回、『オッサくん』を市のマスコットキャラクターにすること、新しい衣装について、皆さん

の意見を募集します。
意見の提出方法 市ウェブサイト（オッサくんのデザイン画を閲覧可）からアンケート用紙をダウンロードし、必要事項を記入して12月28日(金)（消印有効）までに持参するか、郵便またはファクス、eメールで送る。

その他 (1)意見は今後の参考とします。(2)意見に対する個別の回答はできません。



オッサくん

申込・提出・問合せ先 50周年事業推進室（〒290-8501）☎ 9822、FAX 1720、✉ 50th@city.ichihara.chiba.jp

冬の交通安全運動スローガン

醒めたはず その思い込みに 魔が潜む



冬の交通安全運動が12月31日(月)まで県内一斉に行われています。一人一人が心と時間に余裕を持って行動し、交通事故を防ぎましょう。

運動の重点目標 ～期間中、死亡事故を0に～

- (1) 飲酒運転の根絶
地域での会合や行事など、あらゆる機会に飲酒運転の根絶を呼び掛けましょう。また飲酒が予想されるときには、車で出掛けないようにしましょう。
- (2) 子どもや高齢者の事故防止
家庭、職場、地域ぐるみで交通安全の意識を高め、事故を防止し

- ましょう。
- (3) 夕暮れ時・夜間の事故防止
夕暮れ時から夜間にかけては、反射材を身に付けたり、明るい色の服装をしたりするなど、車から見やすい格好をしましょう。
- (4) シートベルトの着用など
シートベルトは全席着用し、チャイルドシートは正しく使用しましょう。

問合せ先 Web 生活安全課 ☎ 9816

～飲酒運転根絶キャンペーン～
12月18日(火)・国道297号と平成通りの交差点 啓発物配布や飲酒運転根絶の呼び掛けなど

市内各地でパトロール

歳末特別警戒パトロール

市内の犯罪件数は全体的には減少していますが、女性や高齢者を狙ったひったくりや振り込め詐欺などが増加しています。犯罪に巻き込まれないよう、注意しましょう。市では、毎年年末に警察や地域ボランティアと協力して、1件でも犯罪を減らそうと歳末特別警戒パトロールを実施しています。



八幡宿駅前

侵入盗等防止パトロール

市では、空き巣や忍び込みなどの侵入、自動車やその部品を狙った盗難などの犯罪を抑止するため、12月1日から市内の住宅街で、委託警備員による侵入盗等防止パトロールを実施しています。

外出・就寝前の確実な戸締まりや、自動車への警報装置の設置など、防犯対策を行いましょう。

問合せ先 防犯対策室 ☎ 9997



国分寺台